



「サンパルネ」で新年会開催 参加者65名 今年も盛大に！

新年スタートのイベント新年会は1月23日（土）、新装なった東村山駅西口「サンパルネ」2階のコンベンションホールで開催されました。駅直結の利便性と初めての会場という興味もあり、参加者は65名（昨年比+14名）、當摩彰子副会長の司会のもと午後5時にスタート。

まず同副会長の知人で、東村山市人権擁護委員でもある江藤佳子さんの琴の演奏。「生きる」という演目は全員の心に響きわたりました。風間副会長からホール契約時の苦労話が披露され、続いて小亀会長の挨拶。武蔵村山稲門会の設立総会から戻ったばかりでしたが、大隈侯の母校設立時のエピソードを話され、その後設立された校友会は今年125周年を迎えること。そして校友会の力こそ今後の大学の盛衰を左右すると力説されました。又、今年度三多摩支部の幹事役として、11月の支部総会を立派に実施したいとの決意表明がありました。

乾杯は藤澤博恭氏、その後楽しい懇親の会へと移りました。会場は中央に食事のコーナーとそれを囲む形でテーブルが8個。ケータリングは地元の「東村山給食センター」そして「餅萬」から「だいじょぶだあまんじゅう」の差し入れ、清酒は「金婚」、「あさひや」の麺と「ポールスター」のソースを使っの「赤焼きソバ・黒焼きソバ」と正に地産地消を実践し、「東村山を元気に」を高らかに宣言しました。小亀会長差し入れの早稲田グッズを目指してジャンケン大会、そして最後は井垣さんの東村山稲門会の歌のリードと井原幹事の音頭で校歌と予定の時間はあっという間に過ぎ、心残りでしたがそれぞれの家路へと向かいました。

責任者として尽力された風間副会長始め幹事役の皆さん、差し入れをしていただいた方々に、紙面を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。

（當間昭治 記）

〈出席者〉

青山稔、赤荻洋一、朝木吾朗、阿部茂、井垣和太、石川 武、石塚征雄、市川 暢男、一色泰久、出田邦博、井原 徹、江藤昌明、大内一男、大西幸夫、岡田 一郎、小野 智、風間和夫、加藤正俊、木谷 肇、木谷夫人、河野憲一、小亀輝雄、小亀夫人、小林俊治、重原真知子、鈴木国夫、高橋正夫、高部素行、高鷲 近、滝川桜子、滝川正義、滝来洋二、田口政澄、武井勇治、田島隆夫、月森通夫、土橋雄次、當摩彰子、當摩照夫、當間昭治、當間夫人、戸田志郎、豊田友吉、ドーチハウ、内藤 慎、長井 治、中村真弓、長野長正、南湖修一、額田伊久夫、野田 数、番場吉次、福田昇七、藤澤博恭、町田和夫、松澤 宏、松永常尚、丸本聡明、三宅良太、森本 吏、八木正晴、山下邦康、山下夫人、吉田 勝、江藤佳子（敬称略）（65名）





○ 3月 定例役員会

日時： 平成22年3月6日(土) 13:00～16:00
場所： ふるさと歴史館・研修室

会員の皆様はどなたでも参加できます。是非お出で頂き、今後の稲門会の
ありかた等について、ご意見をお聞かせ下さい。稲門会は会員ひとり一人
のものです。皆さんと一緒に楽しい稲門会を作っていきましょう。
3月6日は3・4月に生まれた方をお祝いするお誕生会も行われます。是
非多くの皆さんでお祝いしましょう。(別項参照ください。)

○ 第67回雑学講座

日時： 平成22年4月10日(土) 15:00～16:30
場所： サンパルネ・コンベンションホール
(東村山駅西口駅ビル 新年会と同じ場所)
講師： 住田誠蔵氏(昭和10年兵庫県生れ 一橋大卒 元ローソン常務)
演題： 「本物のテノール歌手の条件とは」

住田氏は一橋大卒業後山一証券、ローソン、大栄不動産等で企業戦士として活躍、
退職後音楽活動を始め現在川崎市民合唱団に所属。又、オペラにおける「テノール歌
手の条件」について独自の理論を展開、昨年9月に「テノール大辞典」を上梓されま
した。今回の講座では、実例等も紹介して興味深く、「本物のテノール歌手の条件」
をお話いただきます。

○ 3月度・4月度合同お誕生会(担当幹事 南湖 390-2287)

日時： 3月6日(土) 17:00～19:00
場所： 割烹「丸藤」 久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646
会費： 3,000円

該当の方々ぜひこの今年から始まった新たな形でのお誕生会にご参加ください。お待ち申し
上げております。(特に4月誕生月の方はこの3月6日に実施ですでお間違えのないようご注意
ください。)

なお、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。
ご希望の方は担当幹事までご連絡ください。また、誕生月該当者で、下記されていない方は担当
幹事までご連絡ください。

☆ 3月度お誕生の方々(敬称略 20名)

朝木吾朗、飯村和子、井垣和太、遠藤 誠、大野恵子、岡部幹郎、大森平八郎、窪田淳治、
紅松容子、肥沼恒夫、杉山 信、鈴木国雄、関 一誠、高柳 剛、田代光一、豊田友吉、
細萱 進、山崎光夫、山室 勲、松井 淳

☆ 4月度お誕生の方々(敬称略 20名)

石井久長、金城寛文、久世利夫、小菅 宏、重久和彦、柴田 元、高橋文子、滝川正義、
土橋勇次、當間昭治、中村皓一、中村真弓、成田延雄、額田伊久夫、松澤 宏、森川節子、
八木勝利、吉高太郎、鈴木秀夫、武井勇治

○ 退 会

鈴木 秀夫 青葉町 3-46-17
菊池 知明 久米川町 2-22-18

御願い 東村山稲門会も会員の高齢化が進み、体調が思わしくなく退会なさる方も出てい
ます。現在会員数は202名となっています。役員会としても会員増強に取り組
んでいます。皆様の同期の方、サークルの後輩などお知り合いの方がおられま
したら是非事務局にお知らせください。役員会で入会のご案内を送らせて頂きます。

☆ 知っていますか？

大隈侯の肖像入り硬貨が発行されます

都道府県ごとのデザイン硬貨が作られている地方自治法60周年の記念貨幣に“佐賀県”代表として早稲田大学の創設者で元首相の大隈重信が決まった。

大隈は1871年（明治4年）の通貨制度改革を推進。新単位「円」の導入にあたって硬貨の形を四角から円形に変えるよう提案し、「円を作った男」としても知られる。

記念硬貨は500円と1000円で、今年秋に発行予定。約140年ぶりに帰ってくる明治時代の「ミスター円」だが、その目に映る日本経済は円満といえますか・・・

（1月16日 毎日新聞）

東村山市役所食堂で「黒焼きそば」販売

東村山市役所では、市内のソースメーカー「ポールスタア」製のソースを使った「黒焼きそば」が販売されている。黒褐色が特徴のソースには、イカスミや鹿児島県産の黒酒などが入っており、濃厚なのにあっさりした味わいだ。

鎌倉幕府倒幕を掲げて進軍した武将・新田義貞が、市内にある八国山で陣を張った際に、敵を警戒して夜食に炭をかけて食べたという言い伝えなどをもとに、2008年秋に開発された。一日十食以上出ているそうです。皆さんも一度食べてみては如何ですか？（小鉢がついて450円）

（1月18日 読売新聞）

1月2月度合同「お誕生会」報告



担当幹事：南湖 修一 TEL 390-2287

新年から新たな企画となった1月・2月度合同のお誕生会は1月9日（土）17時すぎからいつもの割烹「丸藤」で開始された。1月と2月にお誕生日を迎えられる方々38名中11名の他役員などで参加者は総勢24名となった。小亀会長の新年の挨拶とお祝いの言葉のあと、風間副会長の誕生日該当者11名の方々の卒業年度・学部のご紹介を交えたお祝いの言葉と乾杯の音頭によって宴はスタートした。當摩副会長から福生の清酒1升の差し入れもあり和気藹々のうちに会は盛り上がった。会長からバースデープレゼントが手渡され、その後、この11名の方々から夫々スピーチを頂いた。

初めの飯塚輝夫さんからはご自身の闘病のご経験から大病に罹ったら都立府中病院とのお勧めがあり、当会会計幹事の岡田一郎さんのお話しの中では現役時代の回顧で懐かしい“歌声喫茶”が登場した。英語はすっかり忘れたとご謙遜の小野智さんは原爆、横田基地などについて語られ、初めてこの誕生会に参加されたという大曾根文男さんは今年で63歳となり定年となる3月以降は当会で活躍したいと抱負を述べられた。ご家族で誕生日を祝ってもらったことが無いという倉田哲也さんは現在在日外国人に日本語を教えていらっしゃるとのこと、東村山市に平成3年からお住まいの高橋鶴次郎さんは今年70歳になられるとのことだがスキーがお得意のご様子。今年75歳になられる高橋正夫さんは早稲田で受けた授業はいまいちだったが友人は最高だとの感慨をご披露、草加の生れという内藤慎さんは米屋での子ども時代の思い出を話された。この誕生日で79歳という長井治さんは「しゃべりが苦手」とおっしゃったがなんのなんのメモを用意されていてユーモアたっぷりに自己紹介、昭和44年1月15日から東村山にお住まいという成田豊太さんは地域に根付いた（特に福祉関係での）活動でご活躍とのこと、最後に立たれた今月の“ニュース”で百名山踏破のエッセイを掲載された細山和男さんは東村山市秋津町土着で今年60歳になられるとのことであった。

そろそろ時間も頃合となり、高橋正夫さんの音頭で「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌」を全員で斉唱、当摩副会長のメの挨拶のあと赤荻さんによる記念撮影も無事終了し、会はお開きとなった。

市民「ユニカール」大会での 稲門会員の活躍レポート

小野 智 (S30政経)

昨年(2019)の11月22日(日)に第46回東村山秋季市民大会の一環として、第13回市民ユニカール大会が、市民スポーツセンター内で開催され、出場選手、役員、スタッフ約150名が参集しました。

「ユニカール」はニュー・スポーツとして数回マスコミに取り上げられましたが、オリンピック種目になっているカーリングを手軽に楽しめるように考案され、英語の「ユニバーサル」と「カーリング」を組み合わせた造語です。頭脳を使った勝負の駆け引きと、ストーンの投擲の楽しさ、面白さを氷の上だけでなく、一般室内の中で気軽に楽しめるスポーツです。

3人1組でチームを作り、2チームがそれぞれ交互に重さ3キロのストーンを、長さ10メートル、巾2メートルのカーペットの上を滑らせるように投げ合い、6回を繰り返して合計得点で勝負が決まるゲームです。

当日の開会式では体育協会副会長市川暢男氏(昭42商)のご挨拶があり、その後ストーンの試投があり、参加者一同から大拍手が湧き上がりました。

大会には、すわスポーツクラブより滝沢利夫氏(昭27理工)、久米川町クラブより窪田淳治氏(昭40政経)が参加されました。両チームは惜しくも午後からの決勝トーナメントの出場は果たせませんでした。

青葉町チームとして出場された風間和夫副会長(昭30法)は午前中の予選リーグを突破し、午後からの決勝トーナメントに出場され、18チームで決勝戦に突入いたしました。チームの仲間と十分に作戦を練り、ミスのないよう奮闘された結果、優勝決定戦に進出されました。勝負は、同点決勝まで進みましたが、1点差で惜しくも優勝は果たせませんでした。

大会には、各町内、各クラブごとにチームを編成し、出場されますが、今回は45チームが出場されました。3位以内に入賞することは至難の技ですが、準優勝の栄冠を手中に収められたことに対し、お祝い申し上げます。

出場されました滝沢、窪田ご両名もお疲れさまでした。

話は前後いたしますが、昨年の春、第12回市民ユニカール大会が6月14日(日)に開催されました。この大会にも前述の滝沢利夫氏、風間和夫氏が参加されておりましたが、他にもオカリナの名手市川彰彦氏(昭36文)も地域の仲間と一緒に出場され、ユニカールを楽しんでおられました。

当協会は毎週の金曜日を一般市民解放日と設定し、午後3時より、市民スポーツセンター内レク室にてユニカールを楽しんでおりますので、気軽にお立ち寄り下さい。

近況報告

高柳 剛 (H3社会科学)

稲門会創設期には、職場の大先輩であった水野要(かなめ)さんから誘いいただき、数年間役員をさせていただきました。その後、子育て(現在長女11歳、長男5歳)、仕事中心の生活になり、稲門会の活動に参加する機会が少なくなってしまう、ご迷惑をおかけしております。

役員をさせていただいたころは、私も20代後半から30代前半でしたが、ちょうど3月で41歳になりました。民間企業では珍しくないかと思いますが、市役所でも団塊の世代の退職の関係もあり、40前後の課長職が誕生するなど大きな変換期が来ております。私自身も21年4月に課税課長を拝命し、約40人のスタッフとともに市税(個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税)の賦課業務(約208億円)を担当しております。機会がありましたら、市税や市財政について皆様と意見交換できたらと思っております。

また、仕事柄(市役所勤務)、稲門会の会員の方々とは様々な場面(教育、まちづくり、スポーツ、郷土研究、各種委員会等)でお会いすることがあります。皆様とても東村山のことを愛し、東村山のために何かできることはないかと、積極的に参加・協力していただいております。本当にうれしく思っております。

大学との関係で言いますと、長女は小学1年生のときから早稲田クラブ(NPO団体)のテニススクールに東伏見まで通っております。大学の庭球部に全面的にサポートしていただいております。庭球部は、男女とも団体戦で学生日本一であり、庭球部の土橋監督(元オリンピック代表)や学生から直接指導をしていただき、かなり上手になりました。

取り留めもない話になりましたが、私の近況等を報告させていただきました。市役所にお越しの際は、お気軽にお声をかけていただければ幸いです。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

旅行同好会

話人 風間 和夫 T e x & F a x 3 9 4 - 5 2 7 9
青山 稔 3 9 3 - 8 3 7 2

お待たせしました。
第7回旅行会を下記の予定で行いたいと思います。ご参加をお待ちしております。
ご同伴歓迎です。



記
期 日 平成22年6月7日(月)～6月8日(火)
出発時間 午前7時30分 (集合・出発)
集合場所 東村山駅 東口ロータリー

コース (予定)

第1日

東村山東口～和光IC～「東京外環自動車道」～川口JCT～「東北自動車道」～郡山IC～
【食事】～アサヒビール福島工場〈見学・試飲〉～飯盛山〈見学・散策〉◎白虎隊の剣舞をお
楽しみ頂きます～会津芦ノ牧温泉【宿泊】 16:00頃到着予定

第2日

ホテル(9:00)～大内宿〈見学・散策〉～塔のへつり〈見学・散策〉～会津道の駅〈休憩〉
～西那須野塩原【食事・買い物】～乃木神社〈参拝〉～西那須野塩原IC～「東北自動車道」～
「東京外環自動車道」～和光IC～東村山駅東口 19:00頃到着予定

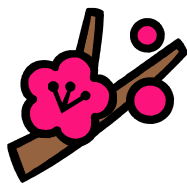
※コース、時間等は道路状況により変更があります。

宿泊 芦ノ牧グランドホテル Tel 0242-92-2221 (代)
会費 お預り金として 2万5千円 (実費精算方式)
一泊2食・昼食2回・宴会費・カラオケ等込み
交通機関 国際思い出観光サービスのDXサロンバス使用 【定員 27名】

参加希望者は 上記 風間迄 電話又はF a xにてお申し込み下さい。
先着順、定員になり次第締め切らせて頂きます。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第48回「稲酔」俳句会のご案内

日 時 : 2月27日(土) 午後1時開始
会 場 : 恩多ふれあいセンター 和室
内 容 : 兼題「暖か」含め、雑詠 計 5句
投句は前日必着で世話人までEメール・FAXで
懇親会 : 句会終了後、17:00頃から久米川駅前「丸藤」

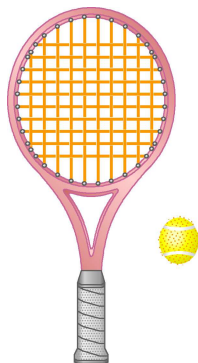
《兼題「暖か」(あたたか)》(ぬくし、春暖、あたたかし、)
心地よい温暖な春の陽気をいう。化石のような冷たさから開放されて、生命のいぶきがよみがえり
はじめた感じである。しかし、それは昼間のことで、夜はやはり化石の世界にもどる。
春は昼間から始まり、秋は夜から忍びよるといわれるゆえんもここにある。降る雨も心なしかぬ
くもりを感じはじめる。(角川書店 図説俳句大歳時記)

あたたかき雨がふるなり枯葎 虚子
あたたかや背の子の言葉聞きながし 汀女
潮引きしあとあたたかき岩畳 大円

(稲雀 記)

テニス同好会

世話人 田 島 隆 夫 TEL 396-7676



1月の例会は11日(祝) 午後3時から5時まで久米川コートで実施しました。

参加者は、滝来、當間、戸田、福田(昇)、野村(茂)の各氏と田島の6名でした。

朝から曇りで最高気温8度の予報でしたから、寒さのせいで参加を見合わせた人も居ました。

しかし、実際にコートに立ってみるとさほど寒くなく、また日没も影響なく十分にプレーを堪能できました。

久しぶりに参加の福田さんのハッスルプレー、野村さんの華麗なプレーが光りました。

今後の予定

日時 2月28日(日) 午前9時～11時

3月 8日(月) 午前9時～11時

場所 両日とも久米川コート3

ゴルフ同好会

世話人 井 垣 和 太 TEL 04-2924-2934



ゴルフ同好会平成22年度年間活動計画

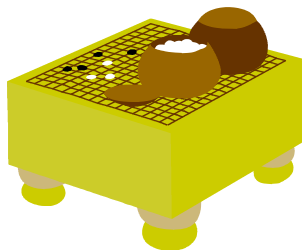
タイガーウッズは無期限休場のゴルフ界は、淋しいシーズンの開幕となっていますが、わが東村山稲門会ゴルフ同好会は、みなさんトラブルなく春の到来をお待ちになっておられると存じます。

本年は下記のような予定で、楽しい会を実施していきたいと思っておりますので、大勢のご参加をお待ちしております。

	記
4月中旬	第27回東村山稲門会春期ゴルフコンペ
5月下旬	薫風ゴルフ会
7月下旬	耐暑ゴルフ会
9月下旬	第28回東村山稲門会秋期ゴルフコンペ
12月初旬	忘年ゴルフ会

(井垣記)

囲碁同好会

世話人 福 田 晃 近 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

●「第20回冬季囲碁大会」を、下記の要領で開催します。

年2回の大会です。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 … 平成22年2月20日(土) 午後12時20分開始

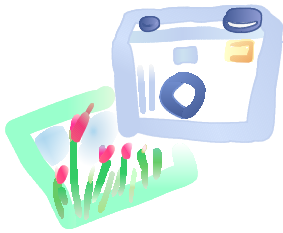
場 所 … 市民センター別館 第5会議室

会 費 … 賞品代500円(当日ご持参ください。)

○上記の大会は、いつもより早く開始しますので、ご注意ください。

場所も「第5会議室」となりますのでご留意ください。

世話人がお電話でご参加の有無を確認させていただきますので、その節は よろしく願いいたします。



「旅」二人の先人の事績を訪ねて

三宅 良太 (S36商)

昨秋10月二つの感銘深い記念の旅を致しました。先ず一つは10月初旬に2泊3日で東北盛岡へ新渡戸稲造博士の事績を訪ねることが主眼で、出身の兵庫県立龍野高校の同窓の仲間等9人連れの旅でした。

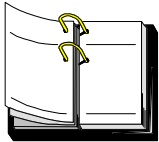
新渡戸博士の略歴は『1862～1933農政学者、教育者、盛岡生まれ。札幌農学校卒、アメリカ・ドイツに留学、一高校長、東京女子大学初代学長、国際連盟事務局次長など歴任、クウェーカー教徒として国際平和に尽くす。著書「武士道」など』滔々と流れる北上川の支流中津川のほとりの生家近くの銅像や盛岡市先人記念館内の博士の記念室の貴重な資料や遺品等を拝見。特に著書のうち1899年に英文で発表された“BUSHIDO, THE SOUL OF JAPAN”(武士道)はアメリカ滞在中38歳の年の著述、日本語は元より広く各国語に翻訳された。その生涯を「太平洋の架け橋」になろうと国際交流に尽くされ、「武士道はその表徴たる桜花と同じく、日本の土地に固有の花である。」(武士道、矢内原忠雄訳)近代日本を理解するには、過去の土に下ろされたその根を知らねばならぬ。今ではもう見えなくなった「日本の魂」を養った伝統を新渡戸は「武士道」に現した。それは橋の人生を生きた新渡戸の心の結晶である。数多くの著作を通して、彼は日本には西洋思想の真髄を伝え、西洋人には日本の最善最良を知らせ、広く東西の思想を解り易く語りかけ、全ての人の心をより深く結ぼうとした。(記念館の説明資料の抜粋)

宿は盛岡から1時間余りの安比高原のペンションに2泊、秀麗な岩手山(2,038m)や八幡平(1,614m)を眺めながら一帯のブナ林等紅葉の美しい素晴らしい景観を満喫して参りました。

次に、やはり10月下旬にバルト三国の一つリトアニアとロシアのサンクト・ペテルブルグへの一週間の旅行。この旅は主として我々の先輩でもある故杉原千畝氏のリトアニアに於ける事績を訪ねることで、早稲田大学の同期の杉原千畝研究会代表の渡辺勝正大正出版社長が発起人で一行22名。成田からコペンハーゲンまで11時間、乗り継いでリトアニアの首都ヴィリニウスへ1時間半で到着。翌日バスで古都カウナスへ向かい杉原領事代理が“命のビザ”を発給した旧日本領事館を訪問。杉原千畝の略歴は1900年1月1日岐阜県加茂郡八百津町で誕生、1919年早稲田大学在学中に外務省留学生試験に合格、大学を中退しロシア語学生として満州ハルピンに渡る。1920年志願兵として1年入営。1923年日露協会学校(ハルピン学院)特修科終了。以後1939年リトアニアの領事代理になるまで各地で通訳官、書記官等を歴任。

そして1940年の夏、ホロコーストから逃れようとしてポーランドから逃げてきたユダヤ人難民に対し、寝食も削って1ヶ月で約2,500通もの日本通過査証(ビザ)を発給した。それまでに外務省に3度も許可願を出したが、拒否されていた。日本政府に背く行為は自分は勿論、妻や子供達の命の安全が脅かされるかも知れない。悩み抜いた末、それでも彼は良心の命に従い「正しいことをする」という選択をし、6,000人もの命が救われた。この人々の子孫は今では4万人以上に増えている。(小谷野裕子著「金色の瞑想」)(渡辺勝正著「真相杉原ビザ」参考)1947年(昭和22年)シベリア鉄道経由で帰国、同年6月 外務省退官、1969年と1985年にイスラエル政府より勲章と「諸国民の中の正義の人章」を受ける。1986年鎌倉にて永眠(享年86才)。

一行は、そのあと領事館から、最後迄ビザ発行を続けたホテルメトロポリス、感動の駅舎とプラットホームを見学、翌日はヴィリニウスへ戻り、ネリス河畔の早稲田大学が建てた杉原千畝顕彰碑、八年前に日本からの苗木を植えた桜公園、郊外の杉原千畝通りや“月光の碑”等を見て翌日空路ロシアの芸術と文化の都サンクト・ペテルブルグへ移動、バスで市内観光、世界三大美術館の一つ、エルミタージュ美術館、エカテリーナ宮殿の“琥珀の間”やロシア美術館、夜はマリインスキー劇場でバレエ“白鳥の湖”を鑑賞、バレリーナは世界一と謳われるロバートキナで一行大満足の3時間でした。



今月の行事（2月）

6日（土）	2月度役員会 雑学講座 カラオケ同好会
20日（土）	囲碁同好会
27日（土）	俳句同好会
28日（日）	テニス同好会

3月の予定

6日（土）	3月度役員会 3,4月度お誕生会 カラオケ同好会
8日（月）	テニス同好会



編集局だより

○最近ショックなことが一つありました。それは普段使用しているパソコンが壊れたことです。毎月のニュースはパソコンで編集しているのですが、今月号は急遽予備のパソコンで仕上げました。使い慣れないパソコンではどうも調子がでません。電化製品を買い替える場合には古くなったので取り替える時と壊れたので新しく買う場合と2通りあると思います。私は壊れるまで使うのがほとんどですが、パソコンは失敗でした。突然使えなくなると今までのデータも取り出すことが出来なくて実に不便なものです。壊れる前に替えておけば良かったー。気を取り直して最新モデルを注文しましたが、次回の買い替え時にはこのようなことがないように気を付けるつもりです。

○次号の原稿締め切りは2月19日（金）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

父母の墓灯りは銀杏黄葉なり	初時雨客は来ぬまま店仕舞ひ	〈訂正〉第一五四号掲載句作者	音消して聴く山里の除夜の鐘	槌持つも持たぬもにらむ鏡割	陽昇るも冷気重たし遊歩道	朝まだき中天の月冴え返る	新玉の真白き富士に思い新た	あいさつは朝の冷気を暖める	七草の図鑑片手に粥啜る	夜回りの後のうどんや星の海	凍てて耳銀河の音を持ち帰る	晴れきって天北風の般若経	生と死の行き交ふ冬の大病院	合格を祝ひ天突く辛夷の芽	水餅の水に映りし鼻めがね	歯固のグリコポッキーチョコレート	すくと立ち年を越したる枯芒	豆餅や郷里の香りを噛みしむる	満月と富士も揃いて初日かな	苦も楽も笑い飛ばして去年今年	良きことのあるを願いて年酒酌む	キャンパスの手の凜凜と冬薔薇	初日さす母の老軀が透き徹る	かみしめて石段高し初詣
幸田 瑞雄	出田 麦踏		丸本 北窓		内藤 慎	戸田 梟	高部 糸行	小永井 哲哉	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	幸田 瑞雄	



新年ひとこと特集 (1)

- 青山 稔 : おめでとうございます。幹事として会の運営・活動のお手伝いをするようになりました。よろしくお願いいたします。
- 赤荻 洋一 : 今年特に、健康に注意してゆきたい。
- 栗島 三郎 : 明けましておめでとうございます。齡八十路に入ると、1年1年が貴重なものになってきます。今年も健康第一で頑張りたいと思います。
- 池田 孝 : 「虎背熊腰」の如く健康管理を目指し「虎頭蛇尾」にならない様、心懸けたいと思います。
- 石井 久長 : 当日所用があり欠席させていただきます。本年も宜しくお願い致します。
- 石川 武 : あと4～5年は月曜日から土曜日までの勤務から解放されないようです。稲門会活動にも積極的に参加出来ず心苦しい思いをしておりますが、ゴルフ部を始め、少しずつでも参加の機会を増していきたいと思います。
- 一色 泰久 : 今年も描き続けます。ただ描くのが好きなだけで描き続け今年で50年になります。「下手も絵のうち」画家熊谷守一の言葉が好きです。
- 井田 邦博 : 牛の如く大地を踏みしめやうやう丑年を乗り越え、次なる年は、我が内なる虎が暴れないようにと一。
- 井手 巖 : 新年会に出席は致しませんが、東村山稲門会の役員の皆様方の会員に対する温かな心遣いを常々感謝申し上げます。今後共よろしくお願い申し上げます。
- 井原 徹 : 皆様元気に集まることができると良いですね。
- 上 素子 : いつもお世話になっております。当日別件があり残念ですが欠席いたします。
- 上原 正行 : 新年おめでとうございます！仕事、プライベートと多忙なため、なかなか稲門会に参加出来ません。しかし、会報は楽しみに読んでおります。今年は何回か出られると嬉しいです！今年は、少しでも明るい世の中になってくれることを願っております！！
- 大内 一男 : 小亀会長のアノ早口の美しい言葉にほだされて2010年稲門祭実行委員会奨学金記念品販売本部に派遣されております。今年の記念品の1万円コースには私が提案した、稲穂がデザインされた会津塗で校歌オルゴール付きアクセサリーボックスになりそうです。その折はご協力の程よろしくお願いいたします。
- 大塚 美穂 : 皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。
- 大西 幸夫 : 明けましておめでとうございます。皆様の益々のご活躍をお祈り致します。私も健康に留意して元気で活動したいと思って居ります。稲門会の皆様、よろしくお付き合いの程、お願い申し上げます。
- 大野 恵子 : 健康第一。仕事、犬の介護、ゴルフ・・・どれも体力があつてこそ！そして人のつながりに感謝しつつ明るく前進！！
- 岡田 一郎 : 昨秋に卒後45年のホームカミングデーに招かれました。幾十万若者の胸を高鳴らした常磐木の中に聳える時計塔、正門、大隈像は今でも進取の気概を鼓舞させてくれます。新11号館前に佇み、早稲田精神を授かった商学部恩師、中島正信先生の毛筆推薦状で社会人入りした往時が懐かしく想起され感慨無量でした。
- 奥山 康治 : 会員の皆様のご健勝を祈念いたします。
- 尾島 敏雄 : 東村山稲門会が年おうごとに隆盛となることを祈念します。
- 小野 浩一 : 広島での生活も3月で4年となります。5年目突入か？
- 小野 智 : 力まず、自然体で行動したいと願っていますが、さてどうなる事やら？

新 年 ひ と こ と 特 集 (2)

- 川 合 幸 雄 : 地元老人会で G.G. (グランドゴルフ) と囲碁で楽しんでいます。本年もよろしくお願ひします。
- 風 間 和 夫 : 今日に感謝 明日に希望
- 加 藤 正 俊 : 総会に出席できず申しわけございませんでした。当日は、ソフトの全国大会でした。初めて満塁ホームランを打ちましたが、試合は負けて喜びも中位でした。
- 北 野 二 郎 : 明るく元気な話題がたくさん増えますように
- 木 原 晴 彦 : 今年が良い年であります様に
- 久 世 利 夫 : 健康第一。くよくよしないで明るい毎日を過ごせたらしあわせ。去年は入退院の繰り返しで一年の半分は欠席したような生活。今年は皆勤で前向きに行動したいもの。
- 窪 田 淳 治 : 健康に感謝し、地域に密着、貢献したいと思います。今年もよろしくお願ひいたします。
- 倉 田 哲 也 : トラ年生まれですので、飛躍の年にしたいものです。
- 紅 松 哲 香 : 出張予定の為、欠席します。
- 紅 松 容 子 : いつもお世話になっております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
- 幸 田 瑞 雄 : 新年おめでとう御座います。旧年は訃報相次ぐ異常な年で先週末従弟の葬儀が 15 人目でした。今年こそ稲門会・・・と思い、新年会も出席予定でしたが黄斑変性の術前検診 1/12、1/22 頃施術予定で欠席します。体調が好調なだけに残念です。
- 河 野 憲 一 : 人生意気に感じたいです。
- 肥 沼 恒 夫 : 欠席させて戴きます。ご盛会を祈ります。
- 小 亀 輝 雄 : ①何事も楽観的にみよ②怒るな③食うな④愚痴をこぼすな⑤世の為に働け (大隈五訓) 今年もこれを目標に生きていきたい。
- 小 亀 信 雄 : 厳しい経済環境ですが明るく前向きに過ごしていきたいですね。今年もよろしくお願ひ致します。
- 小 永 井 哲 哉 : 今年自分でも納得のいく俳句を五句作りたと思います。
- 崎 山 裕 子 : ご無沙汰しております。今年もよろしくお願ひいたします。
- 佐 久 間 厚 : 暮れに風邪をひいてしまいました。何時も風邪をひくと 1 ヶ月余は体調不良が続きますので、今回は残念乍ら欠席とさせて頂き度ご諒承の程よろしくお願ひいたします。先ずはお願ひまで。
- 佐 藤 清 彦 : ことしは傘寿になりそう。どんな雨が降るやら・・・。
- 佐 藤 守 彦 : 去年の世相を表す一文字は“新”だった。政治が変わり、人間も本来有する情、愛が発揮されることを期待する。喜寿をすぎた私は“穩”といきたいものだ。
- 杉 山 信 : 明けましてお目出とうございます。当日、所用のため欠席させていただきます。盛会を期待します。
- 関 一 誠 : いつもお世話になっております。仕事で欠席させていただきます。
- 関 敬 一 : 何の協力もできない幽霊会員で、いつも恐縮しておりますが、わが郷土に同窓生の方々が大量にいらっしゃるのを心強く思っています。
- 高 橋 一 彦 : 新年けましておめでとうございます。毎々お世話になっております。“欠席”ということでよろしくお願ひいたします。
- 高 橋 正 夫 : 昨年からの課題の持ち越し、今年こそ減量を達成すべく生活環境を整えたい。
- 高 部 素 行 : 例年にならい緩急自在に。3 月までは自治会活動に集中。4 月以降 5 月休養。6 月趣味に復帰。
- 高 鷲 近 子 : 今年もまた自然体で行きたい。
- 滝 川 桜 子 : あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。
- 滝 来 京 子 : 読み聞かせの対象が学校の子ども達から老人ホームの人々へと変わったけれど、絵本や紙芝居を通し新しい人々と出会えた事に感謝したい。
- 滝 来 洋 二 : 無理のない範囲で、地元貢献と交流の輪を拓けることに注力したい。

新 年 ひ と こ と 特 集 (3)

- 田 口 政 澄 : 祝新春愉快、万事如意！景気が良くなり、やりたいこと万事うまくゆく。そんな愉快的な年にしましょう。
- 武 井 勇 治 : 去年は体調を崩すことが多かったので、健康に留意して生活したい。それにしても不安な世相で、早く光明が見えるといいのですが・・・。
- 田 島 隆 夫 : 政権交代で政治も変わりつつある。どう変わって行くのか、良く見て行きたい。
- 田 代 光 一 : 今年も頑張らないスローライフと野菜作り、メダカの繁殖を。
- 丹 野 寛 : とにかくにも、健康第一にしたい。そして明るく生きるよう努力します。
- 月 森 通 夫 : 健康第一。新年も一日一万歩以上歩くことを目標に頑張ります。
- 津 野 慶 浩 : 去年はあまり良いニュースがなかったと思いますが、今年は少しでも世の中が良くなるといいですね。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
- 當 摩 彰 子 : 温故知新。もう一度学生だったら、何をしたらろう、と考えながら一年を過ごしてみます。
- 當 摩 照 夫 : 世の中、明るいニュースが少ないこの頃ですが、今年もいろいろ新しい事に挑戦したいと思います。
- 當 間 昭 治 : 地元久米川 3 丁目の自治会長を務めていますが、組織の維持と活性化が変わらぬ課題です。我が東村山稲門会も設立以来 1 4 年、やはり同様の課題があると思いますが、何とか突破口を開けたいものです。
- 戸 田 志 郎 : これから 1 0 年間の人生設計を立てることとする。戸田 (6 5 才)
- 内 藤 慎 : 健康第一。公約の 8 0 才迄活動に後一年頑張ります。政治に完全失望。情け無し。
- 長 井 治 : 去年は何とか無事に過ごせました。今年は昨年よりチョッピリで良いが良い日々を過ごせますように (恩多町の稲荷神社に初詣に参りました)。
- 長 野 長 正 : 今年是多酒、多弁と多食に出来れば多色も控えて地球温暖化防止に努力したいと思って居ります。
- 鍋 島 高 明 : 今年は大逆事件百周年に当たり全国で各種行事が行われる予定で、極力参加しようと思っています。近く「反骨のジャーナリスト中島及と幸徳秋水」を出版します。
- 南 湖 修 一 : 今年もウォーキングとバードウォッチングに頑張るぞ！
- 番 場 吉 次 : 今年 7 回目の寅年の生まれ年になりました。亦、参院選挙の年でもあります。引き続き変化の年になるでしょう。次の寅年メッセージは無理なので、なるべくストレス回避に努めるつもりです。稲門会の会長、役員、同好会世話人諸氏に感謝して居ります。
- 福 田 晃 : 新年明けましておめでとうございます。今年は、私ども囲碁同好会へ多数の囲碁愛好者の参加をお待ちしております。
- 福 田 昇 七 : 今年も東村山稲門会活動に参加し、若さを保ちたいと思います。
- 藤 澤 博 恭 : 温暖化で植物の成長にも大きな変化が現れています。将来の人類の存亡にかけて人間の叡智が試される年になりそうです。地球環境の変化にストップをかける事が出来るか否か一皆さん他人事ではありませんよ。
- 町 田 和 夫 : 去年は 1 年半のパソコン教室はなんとか終了し、今年は耳から聞こえる英語を習得するため頑張ります。
- 松 坂 伊智雄 : ご案内ありがとうございます。高齢で外出が不自由です。
- 松 澤 徹 : 今年もポストパーソンがんばります。月に一度の楽しみになっています。
- 松 澤 宏 : 健康第一 日々に感謝し、あきらめずに一年一年を。
- 松 永 常 尚 : 今年も健康で明るい年を送りたいと願って居ります。
- 丸 本 聡 明 : おめでとうございます。去年の総会懇親会では思いがけないめぐり逢いがあり感激しました。今年も稲門会の集まりに期待しています。
- 三 宅 良 太 : 謹んで新春のご祝詞を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 宮 輝 雄 : 和

新年ひとこと特集（4）

- 守屋 幸一郎 : 新年おめでとうございます。東村山稲門会各位の益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。今年もジョギングやトレッキングで体力増進に努めたいと思っております。新年会への出席を楽しみにしていたのですが、日時が会社OB会(三菱マテリアル)と重なってしまい、残念ながら出席出来なくなりました。
- 八木 勝利 : 皆様にとって良き **Change** でありますように。
- 安田 忠治 : 先日の第14回総会の折は、小亀会長さんを始め、役員各位のご采配で、全体会が賑々しく進められましたこと、敬意を表しております。これも偏に、小亀会長さんの一貫しての会員各位への心温まる方針によるもの改めて敬意を表します。その折は、「次代を担う子供たちの教育」について、お話する機会を持てましたこと誠に幸いでした。その後は、有志による二次会も和気藹々で、時間の経つのも忘れるほどでした。新年会の企画にもぜひ出席と思っておりましたが、関係学会の先約のため欠席となり誠に残念です。次回をまた楽しみにしております。
- 山下 邦康 : 昨年は陛下ご即位20年式典お慶び申し上げます。残念ながら「平成」になって世の乱れは目を覆わんばかり、徳と道や親子の命さえ軽んじる社会。「改号」は歴史的にみて新帝即位の時だけではない、ここで人心一新を目途に私だけ「徳道元年」と改めたいと思っている。さて皆様、お正月おめでとうございます。
- 山室 勲 : 寅にあやかって元気な一年にしましょう。
- 吉田 勝典 : 虎の如く雄々しく元気な1年を過ごせます様に。
- 吉本 正典 : 「健康第一」
- 劉雲龍 : あけましておめでとうございます
- 無記名 : 母校早稲田の益々の隆盛と我が稲門会の発展を心からお祈り致します。

(新年会出欠返信はがきのひとことメッセージをほぼ全文のまま採録したものです。)